

調達管理番号・案件名	
25a00565_ウズベキスタン国国際連結性強化事業準備調査(QCBS-ランプサム型)	

質問と回答は以下のとおりです。

2025/10/20

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	16	特記仕様書(案) 第3条 (12)	「インセプション・レポートやプロGRESS・レポートなどの・・・」の記載に関し、プロGRESS・レポートはインテリム・レポートを指すという理解で良いか。	ご理解のとおりです。
2	29	特記仕様書(案) 第4条 (10) ①	道路概略設計の条件に「縦横断設計20mピッチ」とあるが、これは詳細設計レベルの精度と考える。対象道路延長も長く、概略設計に見合う効率的な作業を実施するため、前述の条件については提案により変更することは可能か。	協力準備調査の中で経済性、施工性、維持管理性等を精度高く検討するために、弊機構が実施する協力準備調査では日本国内の道路予備設計(A)以上の精度を求めていることから、他の案件でも縦横断設計20mピッチの概略設計を求めている、本案件も同様の精度で設計をお願いします。
3	38	特記仕様書(案) 第4条 (24)及び(25)	本邦企業説明会、現地セミナー及び本邦招聘の開催時期はコンサルタントからの提案という理解で良いか。	ご理解のとおりです。
4	39	特記仕様書(案) 第4条 (26)	P/Eコンサルタント及び国内有識者・学識者から構成される国内支援委員会の開催については、P/E実施時期(①IC/R提出時 ②IT/R提出時 ③DF/R提出時)に開催(計3回)という理解で良いか。	IT/RはIT/R①とIT/R②の提出が必要となっておりますので、合計で4回(①IC/R提出時、②IT/R①提出時、③IT/R②提出時、④DF/R提出時)の国内支援委員会の開催が必要です。
5	40	特記仕様書(案) 第5条	「表：本業務で作成・提出する報告書等及び数量」には「2027年1月頃(助言委員会のドラフトファイナル・レポート・ワーキンググループ開催の2カ月前)」と記載がある。これを踏まえると助言員会(DF/R WG)は2027年3月頃と理解されるが予定している本業務の履行期間外となる。助言員会(DF/R WG)の支援はどのように考えれば良いか。	誤記載をお詫びします。 DF/R WGは契約期間内にその対応するをお願いしたいため、2027年2月の開催を想定しております。従いまして、報告書の提出時期を以下のとおり変更します。 企画競争説明書P.41 【訂正後】 インテリム・レポート②:2026年10月末 ドラフト・ファイナル・レポート:2026年11月末 環境アセスメント案、住民移転計画案:2026年11月末 また調査の内容に鑑み、変更する可能性があることをご了解下さい。

以上